

## 第 231 回東京支部技術フォーラムのご案内

医学系研究においては研究対象者の人権・生命・身体を守り、安全に実施されることに格別の配慮が求められることが、「ヘルシンキ宣言」、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」等において述べられています。また、臨床研究法案が制定され、平成 30 年 4 月 1 日より施行されます。これは、放射線画像を扱う研究にも関係することで放射線技師にとっても例外なく適用され、放射線分野における研究も、科学的かつ倫理的に妥当性が確保された状態で遂行されることが望めます。放射線医学に関する研究の公正、公平性を維持したうえで、研究対象者の安全性や人権を確保し、信頼性の高い学会発表をめざして今回の企画を立ててみました。今回のフォーラムでは、研究倫理から利益相反を主題として、講演者に群馬パース大学の土屋仁先生をお招きして、研究計画から論文作成に至るまでの過程で起こりうる問題として、論文のコピーやデータ改ざん等についてと、研究内容や研究費による利益相反についての話をさせていただく予定になっています。学術研究を行ううえで常に考えなければならない内容となっています。会員の方々の多数の参加をお待ちしています。

**日 時** : 2018 年 6 月 22 日 (金) 19:00~21:00 (18:30 受付開始)

**会 場** : 兼松ビルディング 5 階 富士フィルム RI ファーマ (株) 東京第一支店会議室

〒104-0031 東京都中央区京橋 2 丁目 14-1

都営浅草線「宝町駅」A8 出口徒歩 1 分、銀座線「京橋駅」4 番出口徒歩 5 分

JR「東京駅」八重洲口徒歩 15 分、東西線「日本橋駅」C6 出口徒歩 8 分

**参 加 費** : 会員 1,000 円 非会員 2,000 円 学生会員 無料 学生非会員 500 円

**事 前 申 込** : 不 要

**プ ロ グ ラ ム** : テーマ「放射線技師を取り巻く法令を学ぶ ～研究倫理から利益相反まで～」

ワークショップ「研究倫理から利益相反まで ～研究計画から論文の作成に至るまで～」

群馬パース大学 放射線学科学科長 土屋 仁

1. 論文の改コピー、データ改ざん
2. 研究内容による利益相反
3. アンケートをベースにした論文の研究倫理
4. 大学、病院の倫理委員会とは
5. 論文における利益相反とは
6. 査読者の使命とは

**問 合 先** : 公益社団法人 日本放射線技術学会 東京支部 情報処理研究班

E-mail [jsrt.tokyo.joho@gmail.com](mailto:jsrt.tokyo.joho@gmail.com)

担当 情報処理研究班